

平成28年度「提案公募型事業」申請書類(2)
<受託申請書>

ふりがな 団体名	こおりこうぼう ひ 手織工房 陽だまり						
ふりがな 代表者名	おおくま ともみこ 大熊 恵美子						
募集期間 (該当を○で囲む)	第1期 / ○第2期						
事業の分野・テーマ (該当に●印・複数可)	<input checked="" type="radio"/>	【○】心地よく安心な港まちで暮らす					公募要領の 「2委託対象 事業」を参照
	<input type="radio"/>	【△】魅力的でにぎやかな港まちに集う					
	<input type="radio"/>	【□】みんなと港まちを創る					
提案事業名	「好きに好きに織る」手織り						
希望金額=A ※5ページ・6ページの Aと同額を記入	2	6	9	3	5	0	円
期間 (準備～事業終了日)	平成28年9月1日～平成29年2月29日						

【提案事業の計画】 ※ 簡潔かつ具体的に記入してください。

(1) 事業の目的・見込まれる成果

上記で選択した事業の分野・テーマ(○・△・□)について、具体的にどのような目的を持ち、どのような成果を見込む事業であるか、詳細に記入。

<ul style="list-style-type: none"> ・若い人には新鮮で、高齢の方には懐かしさを感じてもらえる。 ・日本の伝統文化(技術)の継承と伝承。 ・さし織りを通して、新しいコミュニティ、仲間づくりと伝承。

(2) 事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの指導を受けながら、さし織りを体験する講座を実施。 ・色紙下糸の中から好む色を選び、マフラーづくりを体験する。

(3) 事業の具体的な内容と方法〔内容、実施日・実施場所、想定参加者等〕

1. 内容

- ・織機10台 縦糸をセットしておく。
- ・スタッフが手順を説明する。
- ・サリ織りのモットーである4つの言葉を紹介する
 - ①思いきって冒險しよう ②機械と人間の違いを考へよう
 - ③キウキウと輝く目と心 ④グループのみんなと学ぼう
- ・一人60分の無料体験
- ・何かに織り上げたい布は持ち帰り、いろいろなものに形を変える。
例として、マフラー、ラップシート、手下げ袋、クマストラップなど

2. 実施日・実施場所(屋外で実施する場合は、雨天時の対応も記入してください。)

実施日：毎月第三週目の 金・土曜日 10:00~16:00
平成28年10月~平成29年2月(計10回)

3. 想定参加者人数・参加者層

想定参加者人数：100名(1日10名×10日間)
(参加受付は当日の先着順)

参加者層：幼児から高齢者まで
織りに興味のある人。

〔織り機に手や足が届かない小さい幼児でも大人がひざの上に乗せ、手元の幼児が担当し、届かない足踏かきを大人が担当する。こは親子の微笑ましい光景となり、素敵な思い出になるのでは。〕

(4) 広報手段

- ・ 地域周辺のチラシの配布や、ポスターの配布などで地域住民の参加を呼びかける。

(5) 事業のスケジュール(準備～実施～実施後の実施運営スケジュール)

- ・ 6月初旬 ⇒ ワークショップ開設の打合せ
- ・ 中旬 ⇒ 開設準備 → 会場探し、織機・糸の準備
- ・ 下旬 ⇒ チラシ・ポスターの発行
- ・ 7月初旬 ⇒ ワークショップ実施日 → H28.10 ~ H29.2
毎月3週月水・木・金・土
計20日間 10:00 ~ 16:00

(6) 事業の運営体制(スタッフの役割・人数や委託外注の活用等による運営体制、地域との連携など)

- ・ 手織りのワークショップ
- ・ 織機 2台
- ・ スタッフ 1日3~4名
- ・ スタッフは参加者が「好きに好きに」織りながら「教える」ように出す。自由なやり取りを楽しんでもらう
- ・ 代表者が受付窓口を担当する
- ・ 会計は経理を担当する。

【事業のアピール】

次の各項目は審査基準と同じで、審査の判断材料となります。事業のアピールポイントを具体的に箇条書きで記入して下さい。(公募要領の12の審査基準の欄を参照してご記入ください。)

(1) 実現可能性

- ・スタッフ5名のうち4名は、現在も適塾に通い学び合っている。
- ・愛知万博(2005年)でのワークショップ。栄のオアシス21(2011~2016)でのワークショップなど、実施経験もあり、今回のワークショップも準備は進んでいる。

(2) 積算の妥当性

- ・業者に見積りをとっているため積算は妥当である。
- ・最低限の消耗品に抑えている。

(3) 公益性・社会貢献性

- ・日本の伝統文化でもある「織・織り」への関心や興味を、行動に移してもらう。
- ・年代を問わず参加できる。
- ・「織り織り」は、これが正解というものがなく、一人一人の個性を大切に表現が許される。

(4) テーマとの整合性

- ・「織り」のもつ「安らぎ」や「懐かし」が年代を超えて地域の人々をつなぐ役割となり、広がっていく。少しでも心地よい日常の暮らしに繋がります。
- ・「織り」を体験している人も、子どもを見学している人も、織っている布が変化していく様子を楽しみながら輪が広がっていく。子ども達もくすり仲間づくりの機会とつながる。

(5) 将来性

- ・夢中で織った布を、どう形を変えて生かしていくか。楽しみながら変化していく。
- ・今回は初体験の織り体験だが、「織」が「織り」も糸を自由に遊ばせるので継続して実施していきたい。

(1) 支出の部

項目	金額(円)				
①外部講師謝金					0 円
②旅費交通費					0 円
③会議費					0 円
④物品購入費			76050		円
⑤借上料			50000		円
⑥保険料					0 円
⑦人件費			90000		円
⑧委託外注費			51300		円
⑨通信費					0 円
⑩印刷製本費					0 円
⑪事務費等			2000		円
総支出合計=A (港まちづくり協議会からの委託契約金額合計) (1ページのAと同額かご確認ください)			269350		円

- ※ 参加費を徴収する事業の方は、参加費で充当される予定の品目は入れないでください。
- ※ 参加費で充当される予定の品目は、(様式1)の【徴収される参加費に相当する事業費】に計上してください。

(2) 対象経費明細 ※対象経費明細のエクセル形式(様式2)の使用も可能です。

項目	経費の内訳 人数、単価、数量、回数等の明細を具体的に記入してください。
①外部講師謝金	
0円	
②旅費交通費	
0円	
③会議費	
0円	
④物品購入費	糸30本 430,000 ハンド4枚×5450=21800 袋2枚×6000=12000 3xH 42850 紙管2本×330=660 122脚×1380=2760 台車 5980
76050円	
⑤借上料	ぽんぽ工房 使用料 合計10日間 5000×10=50,000
50000円	
⑥保険料	
0円	
⑦人件費	7-7327 ⁰ 日当3000×3×10=90,000
90000円	
⑧委託外注費	ポスター-10枚 チラシ 2000枚
51300円	
⑨通信費	
0円	
⑩印刷製本費	
0円	
⑪事務費等	文具一式
2000円	
総支出合計=A	1ページ・5ページのAと同額かご確認ください
269350円	